

VIVID LETTER

No. 2 4

発行 2020/3/1

普及啓発セミナー報告 高次脳機能障がい あれから 10 年 新たなスタートラインに立つ	1
高次脳機能障害相談 VIVID	2
福祉サービス第三者評価を受けて	3
ひとこと通信 お知らせ	4

“VIVID”は高次脳機能障がい者の社会参加を支援する特定非営利活動法人です。

特定非営利活動法人 VIVID(ヴィヴィ)
〒161-0033
新宿区下落合 4-20-16 ルイ目白 103
TEL: 03-5849-4831 FAX: 03-6908-3364
Eメール hbd-vivid@vivid.or.jp
HP <http://www.vivid.or.jp>

普及啓発セミナー報告

高次脳機能障がい あれから 10 年 新たなスタートラインに立つ

NPO 法人 VIVID は、10 年間取り組んできた新宿区「高次脳機能障害者支援事業」を今年 3 月で終了します。そこで、最後となる「普及啓発セミナー」は 2 部に分け、1 部では同事業のメインとしていた居場所づくり(ミニデイ)の初期利用者 3 人に登壇いただき、「あれから 10 年」と題して、回復への転機を当事者自ら語っていただきました。2 部では、1 部にも参加いただいた長谷川幹先生(日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会理事長、三軒茶屋内科リハビリテーションクリニック院長)に 1 部を受けての講演をいただきました。

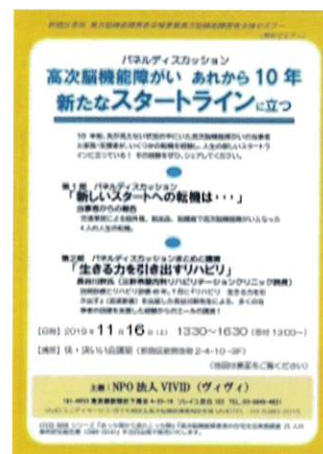
1 部では、家族(支援者)にもお話しいただきましたが、あくまで補足役に徹してもらったことで、本人の語りを参加者がじっと「待つ」時間もあり、そのことがそれぞれの障がいの特徴を感じられるものになりました。

紙幅の都合で、主テーマのそれぞれ「転機」を以下に報告します。

それぞれの回復への転機

40 歳男性(11 歳の時・事故で脳外傷) 本人:美術を学んだこと。障がい者の作品展に絵を出展、自身の励みと喜びにつながった。母:中学で友人の輪の外にとり残された息子に「こんなこと気にしたらダメ」と言われ、日々試練に耐える息子の一生を楽しみ生活にしようと決めた。

30 歳女性(15 歳の時・事故で脳外傷、片眼失明) 本人:就労面接直前に緊張と不安で暴れた時、母がありがたのまの自分でいいんだと言ってくれて心が落ち着き、採用決定となった。母:急性アルコール中毒で路上に倒れていた娘



セミナーのチラシ

を助けに行き、仕事を辞め娘の更生にかけようと誓った。今は、長らく念願だった路上ライブを娘としている。

45 歳女性(出生時頭蓋内出血発症) 本人:バリアフリーのダンスチームに参加し、できないことがあっても、その人だけにできるピカーのことが必ずあると評価され、自信がついた。母:娘の障がいを受け入れた時、いろいろなことが好転した。娘も私も 1 回きりの人生と思い互いの自立を考えるようになった。

2 部では、1 部で発表されたエピソードや症状などを引き合いに、長谷川先生が次のような内容をお話されました。

当事者と支援者の関係

1960 年代から、「私たち抜きで私たちのことを決めないで」をスローガンにした障がい当

事者による運動が世界の潮流となった。1980年の国際障害分類では障がい者を社会的不利と位置づけ、2002年の国際生活機能分類では、あらゆる人にかかわる生活機能の制限の環境因子を「態度」という言葉で表し、支援者(家族も)がどう接するかが本人の生活に大きな影響を及ぼすことを示した。

1 部で、無遅刻無欠席で働く理由を「上司に会いたいから」という発表があった。このことは、かかわる支援者の「態度」を物語っている。今日の発表のように、自分のことを言語化して人に話すことが重要で、それができたら、次は他の障がいのある人の支えになれる。その時支援者は、障がい者の主体性を支えるために半歩後ろに下がり後方支援をする人になる。

3 人の報告で出された高次脳機能障がいの特徴を説明したい。

○いきなり切れる。物にあたる

なんにでも怒る訳ではなく、本人にとって嫌なことダメなことに対して怒る。怒りの気持を抑制できなくなる症状。場面を変え落ち着くと自分の行為を省み謝ることができる。抑制が戻ると怒らないようになる。他所では怒らないが家で怒る人は、自分で判断している。

○すぐ忘れる。新しい情報に更新できない

1日経つと7割近くが残らない一次(短期)記憶と二次(長期)記憶に分類される。新しい記憶ほど忘却されやすい。何回も繰り返さないと忘れ去る。一度覚えた情報が新しい情報に入れ替わらない「保続」という症状もある。前頭葉の前の部分が損傷すると塗り替えができない。

○脳の変化回復には時間差がある

脳内の細胞は筋肉や繊維でつながれており、1～3年ほどの単位で脳機能が向上してくるが、脳の変化には時間差がある。ゆっくり回復するので周りのかかわり、地域での暮らしがリハビリになる。

○失敗したら戻ればよい

自分で決定する内発的動機付けと、人に頼まれたことをやる外発的動機付けがある。外発的動機だけでは内発的動機は減る。自らが決定することで失敗しても変わることができる。

参加者アンケートには、「励まされた」「本人家族の思いがリアルに伝わった」「時間をかけてそれぞれの生き方を見つけてすばらしい」「仕事に生かしたい」等々の記述があり、10年の経過を共有する機会となるセミナーとなりました。

(報告:池田敦子)

高次脳機能障害相談支援 VIVID

今回は、これまでの担当の池田に代わり、VIVIDのもうひとりの相談支援専門員の寄稿です。

計画相談支援の対象となる方は主にどのような人か。

当事業所は、「高次脳機能障害相談支援」というたった事業所で、高次脳機能障がいのある方が主な対象です。高次脳機能障がいといっても、記憶、注意、遂行、失語、半側空間無視、失認、失行、社会的行動障害等々、脳の損傷部位により、一人ひとりの障がいは複雑に合わさっています。

また、高次脳機能障がい者といっても、高次脳機能に障がいがあるだけという方は少なく、身体に麻痺がある、知的の障がいを併せ持って

いるという方が少なくありません。年齢も若い方から高齢の方まで様々です。

そのようなことから、必要とされるサービスは当然違ってきます。支援者としては当事者の思いを一番大切にしたいと思っています。しかし当事者の方の気持ちの表出はとても微妙です。ご家族と一緒に生活されていると、家族に頼る傾向が多いようにもみうけられます。当事者の本当の気持ちがどこにあるのか、今一番何が優先されるのかを理解し、どのサービスにつながるのかが良いのか、サービス等利用計画を作る際は頭を悩ませています。

みなさんの明日へ向けて、よい支援をしていくためにも、これからも頑張っていきたいと思っています。

(相談支援専門員:太田三枝子)

高次脳機能障害相談支援 VIVID

事業所番号:1330401637

☎ 03-6380-2015

福祉サービス第三者評価を受けて

開設から 2 年目、この冬フレッシュスタート目白(フレスタ)は、「東京都福祉サービス第三者評価」を受けました。

福祉サービス第三者評価とは、質の高い福祉サービスを事業者が提供するために、保育所、指定介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、障害者支援施設、社会的養護施設などにおいて実施される事業について、公正・中立な第三者機関が専門的・客観的な立場から評価を行う仕組みです。

評価は利用者ひとりひとりに評価委員が面談をして聞きとる「利用者調査」と、事業者の自己評価をもとに評価者が分析した「事業評価」で構成されます。事業評価は①リーダーシップと意思決定 ②事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 ③経営における社会的責任 ④リスクマネジメント ⑤職員と組織の能力向上 ⑥サービス提供のプロセス ⑦重要課題に対する組織的な活動、の7つのカテゴリーに分けて評価されます。

利用者調査では、ふだん職員に面と向かっては言わないような意見も出ており、結果を見ると新鮮に感じます。

予想以上によい評価をもらっている項目もあれば、厳しい意見のある項目もありました。

いずれにしても、利用者がフレスタをどう見ているのかを知ることのできる機会は貴重なので、もらった意見を今後に活かしたいと思っています。

おおむね、職員がフレスタで大切にしたいことを利用者にも評価してもらっており、嬉しく思いました。



第三者評価の受審済みステッカー。玄関、受付などに貼り、受審済みであることをお知らせするものです。

事業評価の方は、項目がカテゴリー分けされているため、自己評価しながら自分たちがやってきたことを整理する良い機会でした。それにしても、B 型事業所としてやるべきことは膨大にあるな、と思いましたが・・・。

第三者評価委員の面談を受けた利用者の感想は、中には「イマイチ・・・。」という方もいましたが、「私の話を真剣に聞いてくれました。これからはもっと良くなってくれると思います。」「話がきちんとできました。」「普段は作業が忙しくて、いろんな要望を言えないのでこれからもやった方がいいと思った。」と好感触でした。

評価結果等は、4 月ごろにホームページ「とうきょう福祉ナビゲーション」で公表されます。

第三者の目から見て、フレッシュスタート目白がどう評価されたか、確認してみてください。

(フレッシュスタート目白

サービス管理責任者・遠藤伸)

フレッシュスタート目白（フレスタ）とミニデイそれぞれの利用者さんからの寄稿です。

わたしの好きなこと

フレスタでの私の好きな作業は、チラシ折り、ショップのレジ、緑化作業です。チラシ折は数えるのが楽しいです。ショップはいろいろなお客様に接客するところが好きです。緑化はいろいろな花が咲いているのを見に行ったり、水やりをしたりすることが好きです。今やっている作業をこれからも頑張りたいです。

お休みの日は、月に3回、日曜日にボランティアさんとお出かけしたり、ご飯を食べに行ったりしています。早稲田大学のボランティアサークルの人たちです。水族館や動物園に行きました。自分からこういうところに行きたいですとLINEすることもあれば、ボランティアさんから提案されることもあります。この間、横浜の野毛山動物園に行って、楽しかったです。鳥は怖いけど、普通の動物は大丈夫。

趣味は歌を歌うことです。カラオケに行きます。休みの日はお父さんとよく行きます。ボランティアさんに行くこともあります。「世界に一つだけの花」とか「赤いスイートピー」が得意です。

（フレスタ 田所奈央子）



今年の目標

私の今年の目標は2つあります。

まずは体調に気をつけること。

去年は何度も体調を崩して入院を繰り返しても今こうして元気でいられるので、今年は体調に一層注意したいと思います。

二つ目は旅行に沢山行くことです。

今までも新宿区の保養所に何度も行っていますが、今年も何度も行きたいです。

2月には福岡に祖母の25回忌で行くので親戚の人に会うので楽しみです。

また今一番気がかりなのは3月末でミニデイの活動がなくなることです。

今まで皆様と色々と活動してきて思い出がたくさんあるので、何らかの形で活動が続いてほしいと思っています。

（ミニデイ 高田美希）



ミニデイの新年会にて

※寄稿いただいたのは1月末です

お知らせ

●ミニデイ最後の発表会

2011年から毎年開催のミニデイの最後の発表会です。ぜひ、ご来場ください。

3月14日(土)@新宿けやき園(百人町4-5-1)

●11ふれすたクッキー 通販始めました

自主製品として製作している愛犬用クッキー(材料は生活クラブ生協の材を使用)を通信販売します。申込はフレスタのHPをご覧ください。

<https://fresh901.wixsite.com/start>

●フレスタ2周年

4月1日で、フレスタ開設まる2年。記念セールを行います。ぜひ、お立ち寄りください。

VIVIDからのお願い

ご寄付でのご協力ありがとうございます。フレスタの経営は、まだまだ厳しいです。ご協力はいつでも受け付け中！よろしくお願いします。

【銀行口座への振込の場合】

三井住友銀行 国立支店

普通 7907442

名義 特定非営利活動法人 VIVID

【郵便振替口座への振込の場合】

郵便振替口座 00130-7-780312

加入者名 特定非営利活動法人 VIVID

編集後記

師走のショップは「かきいれどき」。年末セールも千客万来。そのさなかに、第三者評価の受審と新宿の実地検査が重なり、てんやわんやの年末でした。…といってる間に、あっという間に4月です。あと8か月たてば、また年末セールの季節ですね。(金尾)